

未来ノート

-202Xの君へ-

卓球

平野美宇

最初のおねだり

一人でやりきる

悔しさをバネに

金メダルを取る

お留守番イヤツ 母の教室に

「ママの卓球教室に入れ
て」。平野美宇(17)の生ま
れて初めてののおねだりだっ
た。泣き叫びながら、母・
真理子さん(48)の服の袖を
引っ張ってせがんだとい
う。3歳5カ月になる20
03年9月のことだ。

「1階でお留守番をしてい
たけど、離れるのが嫌で……
……。『絶対やりたくない』っ
て、おねだりした」。

翌日も、平野は泣いてせ
がんだ。普段は聞き分けの
よかった娘の姿を見た真理
子さんは言った。「教室の
みんなの迷惑にならないく
らい上手になったら、入れ
てあげる」。こうして、ラケ
ットを握ることになった。

最初の練習は5分だけだ
った。「うまくならなかつ
たら教室に入れない。プレ
ッシャーがあった」と平
野。真理子さんは「何でも
没頭する性格。折り紙がよ
れよれになるまで、鶴を折
ることもあった」と語る。

4歳になる直前の04年4
月。願いがかなって教室に
入り、地域の大会に出場し
た。「対戦相手も応援してく
れたのを覚えている」。家族
が特注の小さなユニホーム
をプレゼントしてくれたこ
とも、とてもうれしかった。

特別支援学校教師だった
真理子さんは、飽きないよ
うに遊び感覚の練習を採り
入れた。ラリーが続いた回
数だけ基石を並べたり、大
好きなキティちゃんのぬい
ぐるみを台に乗せて的当て
練習をさせたりした。

そして小学1年生になっ
た07年7月、全日本選手権
パンピの部(小2以下)で
初優勝。試合後のインタビ
ューで「夢は五輪で金メダ
ル」と初めて言った。「夢
はキティちゃん屋さんじゃ
ないの」と母に尋ねられる
と「違うの」と返した。「お
花屋さんとかケーキ屋さん
の感覚で『キティちゃん屋
さん』と言っていた。で
も、五輪をもっと目指そう
と思って」。明確な夢ができ
た瞬間だった。(前田大輔)



①インタビューに答える平野美宇 ②特注ユニホームをプ
レゼントされ、はしゃぐ4歳の平野 ③真理子さん提供

◆「未来ノート」スクラップブックは、全国のASA(朝日新聞販売所)でお配りし
ています。インターネットの特設ページではイベントやスクラップブックについて詳
しく紹介しています。「未来ノート 朝日新聞」で検索してください。